ゆざわジオパーク
ジオサイト案内書　７

酒米を育む山田の田園と湯沢の美酒

火山　歴史　雪

いわさき
岩崎／
ジオサイト１３

やまだ
山田／
ジオサイト１４

ゆざわ
湯沢
ジオサイト１６

美味しい水と歴史を感じる風景

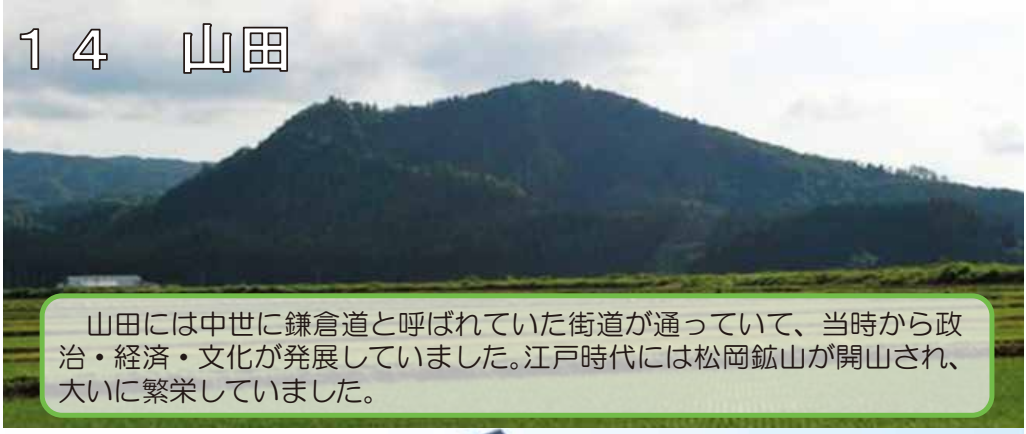
湯沢市ジオパーク推進協議会

ジオサイト紹介

１３　岩崎

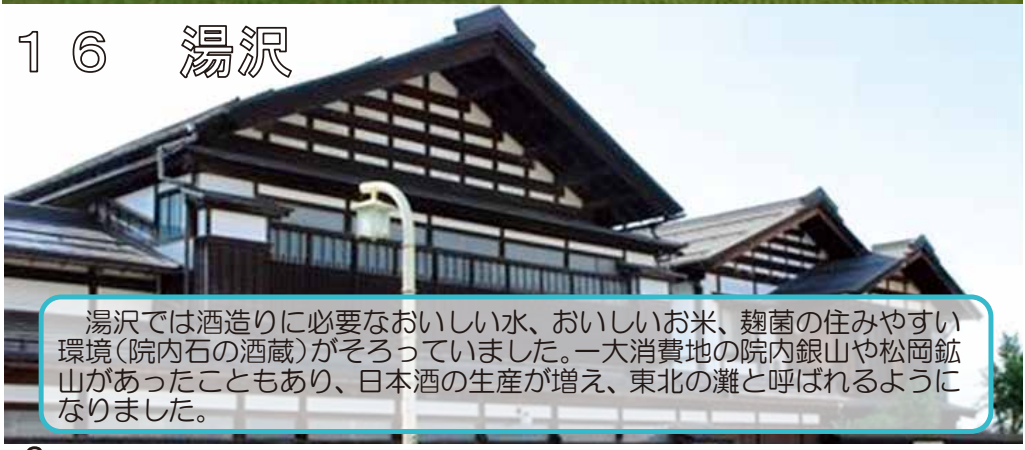
岩崎は、戦国時代は仙北平野を見渡せる要所として栄え、江戸時代には羽州街道の宿場町、大曲へ抜ける沼館街道の発着場として栄えた交通の要所でした。

１４　山田



山田には中世に鎌倉道と呼ばれていた街道が通っていて、当時から政治・経済・文化が発展していました。江戸時代には松岡鉱山が開山され、大いに繁栄していました。

１６　湯沢



湯沢では酒造りに必要なおいしい水、おいしいお米、麹菌の住みやすい環境（院内石の酒蔵）がそろっていました。一大消費地の院内銀山や松岡鉱山があったこともあり、日本酒の生産が増え、東北の灘と呼ばれるようになりました。

①岩崎の歴史

○岩崎城跡（いわさきじょうし）

城跡から仙北平野の眺望（眼下に皆瀬川）

岩崎城は戦国時代、仙北平野を見渡せる要地に館（やかた）を構えていましたが、最上軍（もがみぐん）の侵攻によって落城しました。

江戸時代、岩崎には雄勝八郷（おがちはちごう）を束ねる秋田藩の奉行所が置かれていました。

また、皆瀬川の渡船場（とせんば）であり、湯沢と横手の双方から役人が配置される交通の要所でした。

現在は城跡全体が千年公園（ちとせこうえん）として整備され、石垣、玉子井戸、八幡神社、水神社、鹿島様、藤棚等が点在しています。

○岩崎の鹿島様（いわさき　かしまさま）

千年公園の鹿島様

鹿島様は『武神（いくさがみ）』を象徴したワラ人形で、東北地方の村落（そんらく）に多くまつられています。

岩崎地区の鹿島様は数百年前から伝えられており、高さ 4m 程の巨大なものです。古来より鹿島様は村の入口にまつられ、他所からの邪悪な霊や人、疫病の侵入を防ぐと信じられてきました。岩崎では春と秋の２回、衣替えをする『鹿島祭り』を行い、願いを鹿島様に託しています。

鹿島様は、2000 年の歴史を有する日本の稲作農業がもたらした民俗文化です。

○岩崎の神社群

八幡神社（はちまんじんじゃ）

八幡神社の宝物は鎧（あぶみ）絵図で、源義家が鎧を献上、奉納して戦勝を祈願したと言い伝えられています。

水神社（すいじんじゃ）

旧暦11月の初丑（はつうし）の日に裸参りが行われます。水難除け（すいなんよけ）と豊作を祈願して、町の男衆が勇ましい姿でえびす俵（だわら）を奉納します。

高辻神社（たかつじじんじゃ）

高辻神社は妙見（みょうけん）神社とも呼ばれています。妙見菩薩、稲荷大明神、天神（学問の神様菅原道真公）をまつっています。

①溶岩（ようがん）ドームの白山（はくさん）

白山周辺の地質は800万年前～600万年前の火山活動による火山灰が堆積してできた院内軽石凝灰岩類とこれを貫く流紋岩（りゅうもんがん）溶岩からなります。

湯沢市内から見ると二つの山頂がある独特な姿をみせています。まさに山田地区のシンボルというべき山です。

②松岡鉱山（まつおかこうざん）と負（ふ）の遺産（いさん）

○松岡鉱山開発の歴史

松岡鉱山事務所
（昭和50年、秋田大学斎藤實則氏撮影）

鉱山発見については、諸説ありはっきり分かりませんが、戦国末期から江戸時代初めあたりと考えられています。

この鉱山から産出された銀は、『湯沢銀』と称された良質なもので、一時は院内銀山に次ぐ有望鉱山とされていました。

江戸時代前期に大量の銀の産出があり、操業も盛大に行われていました。

特に 1808 年には 1 日に銀鉱石 100 貫（375kg）、坑夫約 200 人という盛況ぶりでした。その後、休山、再開を繰り返し昭和 27 年（1952 年）に閉山しました。

○鉱山の負の遺産

第一、第二沈澱池

石灰中和施設

松岡鉱山は、製錬（せいれん）していた当時から鉱煙（こうえん）、鉱山廃水、浸透水などの公害問題がありました。1890 年代経営者と農民の話し合いにより沈殿池（ちんでんち）が作られましたが、冬期間は経営者が鉱山廃水を沈殿池から用水路へと流し続けたといわれています。

昭和 49 年（1974 年）、平鹿産白米からカドミウムが検出されました。

現在は、ズリ（低品位の鉱石や岩石）への盛土や植林などの対策が取られています。また、鉱山廃水処理工場が建設され、排水基準を満たす処理が行われています。

③ 信仰あつい山田地域

○白山神社（はくさんじんじゃ）と女神像（にょしんぞう）

本尊の女神像

松岡経塚

発掘された経筒

白山神社は、白山（標高 289m）の頂上に建てられています。

806 年～ 810 年（平安時代）に、坂上田村麻呂が戦勝を祈願して建てたという伝説が残っています。本尊はケヤキ材を鉈彫り（なたぼり）した女神像で、平安時代に造られたと伝えられています。

当時、神社のふもとには松岡寺と 18 の宿坊があり、信仰の山としてにぎわっていました。

また、ふもとの構え森（かまえもり）にある松岡経塚（まつおかきょうづか）から平安時代の経筒（きょうづつ）が発掘されています。

○歴史ある山田の社寺群

菅原神社（すがわらじんじゃ）
菅原道真公の神霊をまつっています。

八幡神社（はちまんじんじゃ）
1821年に山田郷（ごう）の守護神として建てられました。

霊仙院（れいせんいん）
開山は江戸時代初めで、樹齢400年以上のイチョウがあります。

最禅寺（さいぜんじ）
1387年開山と言われ、山田では最も大きなお寺です。

土沢神社（つちさわじんじゃ）
たにし観音と呼ばれている鎌倉時代初期に造られた観音像がまつられています。

貴船神社（きふねじんじゃ）
京都の貴船神社から分神し、水の神、雨の神として信仰を集めています。

④山田の名水

○切畑阿黒王名水（きりはたあぐろおう）

切畑集落では、昭和 36 年（1961 年）に切畑簡易水道組合が結成され、設備工事後湧水から水道への給水が始まりました。

その後、平成 24 年（2012 年）に湯沢市水道から水道水が供給されることとなりました。

その際、長年給水して来た水源の湧水地を地域の名水として伝承するために、水汲み場を整備しました。そして、地域に伝わる阿黒王伝説にちなんで「切畑阿黒王名水」と名付けました。

① おいしい湧水の里

湯沢市には湧水が
約100か所以上あります。

○力水（日本名水百選の一つ）

力水は、市街地中心部に位置する湯沢城址の麓にある湧水地です。ここには、佐竹南家のお屋敷があったことから、御膳水（ごぜんすい）などと呼ばれていましたが、『飲むと力が湧く』と城主が愛用したことから、いつしか力水と呼ばれるようになったと伝えられています。

水質は PH7.4 の中性で、水温は約12℃と年中一定です。

○摩訶不思議な愛宕鉱泉

この水で木綿豆腐を湯豆腐にすると水に含まれる炭酸水素イオンが豆腐の表面をなめらかにし、絹ごし豆腐のようになります。

この水は、愛宕公園から湯沢市民の森に行く途中にあり、水源は裏の沢を200m 登った地点です。（案内看板有）
※必ず加熱して利用してください。

②湯沢は東北の灘（江戸時代から盛んな酒造業）

木村酒造・・江戸時代初め、1615年創業の秋田県で2番目に古い蔵元（くらもと）です。
昔ながらの寒造り一筋の酒蔵で、米蔵には院内石（いんないいし）を使っています。

両関酒造・・明治７年（1874年）に七代伊藤仁右衛門（いとうにえもん）が創業しました。創業時は院内銀山が隆盛を極めた頃で、銀山での酒の消費が見込まれました。

秋田銘醸（株）・・秋田県産米を原料とした銘酒を大量生産して他府県に移出するために、県及び湯沢の有志が発起人となり、両関の姉妹会社として大正11年（1922年）に誕生した会社です。美酒爛漫のCMでも知られています。

③湯沢歴史散歩

○湯沢市民の信仰あつい御嶽山（みたけさん）

山頂の御嶽山神社

御嶽山（標高317m）は湯沢市役所の北東にそびえ、古くから地域の信仰を集めている山です。頂上には御嶽山神社があります。湯ノ原から続くつづら折りの古い参道には、多くの関口石で造られた石像がまつられています。

この山は火砕流堆積物でできています。

○湯沢城跡（ゆざわじょうあと）

湯沢城は、1277年小野寺道定（おのでらみちさだ）によって築城されたといわれています。

小野寺氏、楯岡（たておか）氏、佐竹氏と受け継がれ、1620年、幕府の一国一城令により廃城となりました。

現在は、中央公園から続く散策路が整備され、見張台跡から市街地が一望できます。

○街道のにぎわい

愛宕町（あたごちょう）の一里塚

愛宕町の旧羽州街道の西側にある一里塚です。

樹の高さ20m、幹周り8m、樹齢約400年のケヤキの巨木です。昭和38年（1963年）に秋田県文化財に指定されました。

湯ノ原（ゆのはら）の一里塚

旧小安街道に築かれた一里塚です。

樹齢約400年のケヤキの大木で、昭和38年（1963年）に湯沢市文化財に指定されました。

○市内の歴史的建物

旧雄勝郡会議事堂

1891年に完成した2階建て擬洋風庁舎建築で、昭和50年（1975年）秋田県文化財に指定されました。

両関酒造建物

本館は、大正期に建てられた事務所兼用住宅です。本館他の4つの蔵が国登録有形文化財になっています。

案内図

岩崎　ジオサイト13
鹿島様
岩崎城跡
鹿島様（旧岩崎小前）

山田　ジオサイト14
松岡鉱山跡
白山神社跡
阿黒王名水

湯沢　ジオサイト16
御嶽山
力水
湯ノ原の一里塚
湯沢城址
愛宕町の一里塚
愛宕鉱泉